

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準に基づいて実施
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現在、車椅子等を使用している児童の利用はない。今後、利用がある場合は環境等の改善をする必要がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティングにおいて、振り返りを行っている。振り返りシートに記録することで、児童の成長や新たな課題を職員間で共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1回実施している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の特性に応じ、チェックシート・クリスタルカードのチェックリストを活用。保護者の意見も踏まえ、課題を整理し計画を立てている。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			心理士が行う基礎調査表を活用し、半年毎にモニタリングを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事前に打ち合わせを行い、改善点や安全面の配慮等、スタッフ間で意見を出し合い行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動プログラムは、2週間毎に変えて行い、様々な用具を使用し児童の興味関心を引き出しながら行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			運動プログラムを中心に療育を行っている。土曜日や長期休暇時は外部施設への外出やクッキング等も行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動を行う心理士と指導員が常に情報を共有し、連携を取り合っている。集団活動では、学年の差別化を図り、高学年に対してはより主体性が育まれる内容を考えている。また、SSTを取り入れ対人援助スキルや生活スキルの向上を目指している。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日必ずミーティングを行っている。児童の様子は当日だけでなく、前日からの背景も意識し、行動の分析をしている。役割分担や個別的配慮等も打ち合わせて行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日に前日の振り返りや申し送りを行い必ず共有している(申し送りノートも活用し、休みの職員でも前日等の様子が確認できるようにしている)。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			全児童に対し、サービス提供記録を取り、個々に応じた集団支援シートにも日々記録を残している(支援の改善や会議等でも活用している)。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時には学校の先生と情報共有をしている。保護者より困り感があった場合には、相談支援員に情報提供し、必要に応じてケース会議に繋げている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケア児の受け入れ体制にはしていないため、受け入れは行っていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じて、情報提供や会議を行っている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在は交流は行っていない。今後は地域のコーディネーターの方等の助言をいただきながら検討してみたいと思っている。

	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			基本的には、管理者兼児発管が毎回参加しているが、可能な場合には心理士や指導員も順番に同行し、他事業所や関係機関との連携を深めている。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			迎え時には必ず情報共有を行っている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			特化したトレーニングは行っていないが、連絡帳を通し、保護者と日々のやりとりを重ねている。悩み事等がある場合には迎えの際に顔を合わせて話す事で、少しでも軽減されるように助言や相談を行っている。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		親の会を開催していたが、出席者減少により現在は休止している。今後再開に向けて、保護者に行ったアンケート等を元に調整を行っている。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、通信を発行している。長期休暇時には、行事が多い為、活動内容が入ったカレンダー式のお便りを事前に配布している。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付き書庫へ保管している。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			集団活動等の行事を通して触れ合える機会を持つようにしている。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者には契約時にお伝えし、職員への周知も行っている。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			参加できるものがあれば参加し、地域虐待防止センターにも研修を依頼して

					いる。今年度は、ZOOMにて研修に参加。職員間で内容を共有している。
④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時、保護者へお伝えしている。個別支援計画書にも文言を記載している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			配食サービスご利用時やクッキングの際には保護者の方への聞き取りを元に行っている。対応が困難な場合には、保護者へ伝えご理解を頂いている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			